

仕様伺書

対象形式: JFX、 JM、 JDL、11JDL2、 JS、10JRE
 (□には形式名称の一部が入ります)

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形式		JOB No.		承認	作成
貴社名		SER. No.	—		
お名前		営業担当			
注番					

■入出力特性がリニアのものは仕様伺書は不要です。リニアライズが必要なものは〈記入例〉の様に記入して下さい。

注: 設定可能範囲は入出力共に -15.00 ~ +115.00 % です。

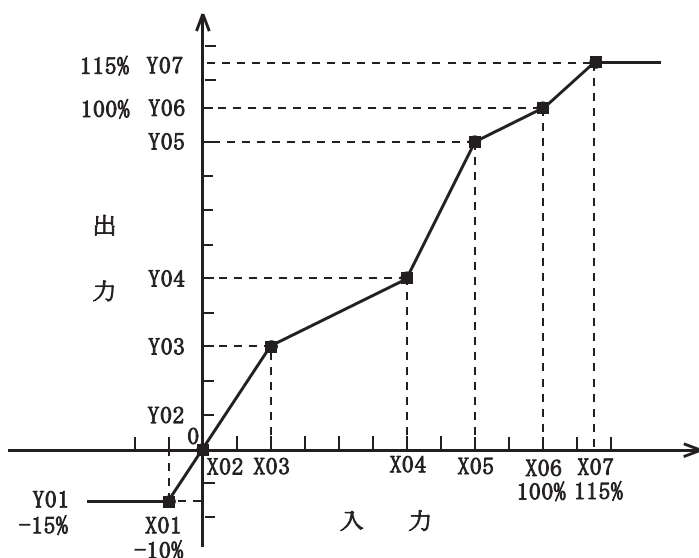
入力信号()		出力信号()		入力信号()		出力信号()	
X(01)		Y(01)		X(09)		Y(09)	
X(02)		Y(02)		X(10)		Y(10)	
X(03)		Y(03)		X(11)		Y(11)	
X(04)		Y(04)		X(12)		Y(12)	
X(05)		Y(05)		X(13)		Y(13)	
X(06)		Y(06)		X(14)		Y(14)	
X(07)		Y(07)		X(15)		Y(15)	
X(08)		Y(08)		X(16)		Y(16)	

(単位は % でも可)

〈記入例〉折れ線テーブルのデータについて

出力信号は折れ線テーブルに登録した最小入力値に対する出力値から最大入力値に対する出力値の範囲内で出力されます。

0 ~ 100 % よりも広い範囲の出力が必要な時(バーンアウトを含む)は、0 % 以下または 100 % 以上の出力値も記入して下さい。



X(01)	-10.00 (%)	Y(01)	-15.00 (%)
X(02)	0.00	Y(02)	0.00
X(03)	20.00	Y(03)	30.00
X(04)	60.00	Y(04)	50.00
X(05)	80.00	Y(05)	90.00
X(06)	100.00	Y(06)	100.00
X(07)	115.00	Y(07)	115.00
X(08)		Y(08)	
X(09)		Y(09)	
X(10)		Y(10)	
X(11)		Y(11)	
X(12)		Y(12)	
X(13)		Y(13)	
X(14)		Y(14)	
X(15)		Y(15)	
X(16)		Y(16)	